

令和3年9月定例会 一般質問（概要）

令和3年10月11日（月）

質問者：岩木 均 議員



私はこれまでこの本会議場において4回、グリーンパワーの質問をさせて頂いています。

私にとってグリーンパワーとは、緑、水、土、風、光など、自然、環境そのものと、これが人々や地域によって、歴史、文化、健康へと広がっていくパワーです。生きがい、快適な空間づくりを実践することによって、みどり豊かで魅力溢れる都市空間を創っていくことこそが、世界に誇れる大都市大阪の使命だと思っています。

1 難波宮跡について

①

最初に難波宮跡についてお尋ねします。

難波宮跡は、上町台地の先端に位置する古代の宮跡で、大阪城公園の南側に位置します。
パネルをご覧ください。

【資料1】 難波宮跡公園 提案対象区域図



難波宮跡公園は国により史跡として指定されたエリアにある歴史公園であり、中央大通北側の北部ブロック、南側の南部ブロック、上町筋西側の西部ブロックの3つのブロックで構成されています。西部ブロックは開設され、南部ブロックは整備開始から長い年月を経ており、北部ブロックは未整備となっている状況です。

また、大阪城公園は国内外から多くの観光客をはじめ、イベント、スポーツ、ジョギングなどで利用されており、日本屈指の魅力溢れる観光スポットであるとともに、大阪城天守閣はコロナ禍になるまで、2018年には年間255万人が見学し、公園には約1200万人が訪れています。

大阪城周辺エリアについてもこの議場で幾度となく質問を行っております。平成24年には、本府においても、みどり豊かな大阪城などのグリーンパワーや民間の力を活用して、新たな展開を検討されてはどうかと申し上げました。当時の松井知事からは「規制緩和等により民間への開放を進め、民間マネジメントにより、民間から投資を呼び込めるような魅力ある都市、民間の創出に府市連携のもと取り組みを進める」との答弁がございました。

また、NHK放送局が西側に移転したあと、唯一残されていた、今は無き、大阪府農林会館についてもお尋ねしております。それは、大阪城公園をはじめ難波宮跡が、我が国、悠久の歴史を色濃く感じられる自然パワーが満ち溢れている「グリーンパワースポット」であ

ると感じているからです。その3年後、大阪城公園の管理運営が民間委託されました。
パネルをご覧ください。



大阪歴史博物館蔵『河内国大絵図』（大阪歴史博物館提供）

これは、1708年頃に描かれたとされる「河内国大絵図」の一部、大阪城を中心とするエリアの地図です。

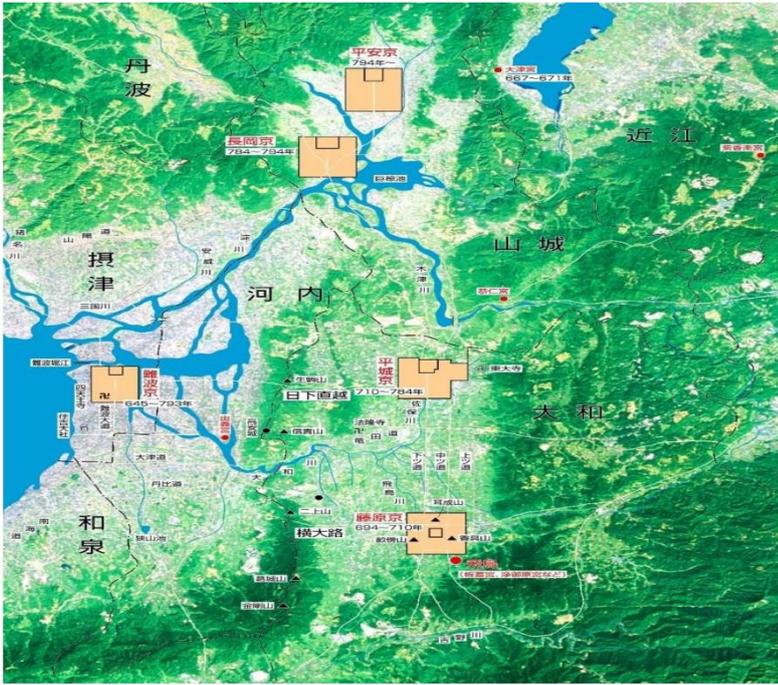
ご覧のとおり、私の地元、平野と、難波宮跡など大阪城周辺エリアは、古くから川で繋がっており、平野の繁栄は、難波宮跡などの大阪城周辺エリアとともにありました。朱印船貿易で活躍された末吉家とは今も、私、個人的に地元平野区で親しくお付き合いをさせていただいております。その末吉家が中心となって、難波宮とつながる平野川を活用し物資運搬をされていました。

その難波宮ですが、文献などでは存在は知られていましたが、実際の所在が分かりませんでした。江戸時代もどこにあるのかと議論になり探していたようです。

明治になりまして、大阪城とその周辺は軍部の管轄地となり、一般立ち入りが制限されます。図らずもそれが良かったのか、昭和29年以降に発掘で宮殿遺構が見つかります。

発掘において、孝徳天皇と聖武天皇の時代の2回、同じ位置に、大規模な宮殿がおかれていたことが判明しました。大発見であります。

再度パネルをご覧ください。



古代の宮都と畿内（大阪歴史博物館提供）

これは、近畿における都の位置を1枚の地図に写したものです。

奈良に遷都してからも、難波宮には、副都として、宮殿がおかれたということもわかっています。

大阪は、奈良の平城京や京都の平安京よりも古く、立派な宮があつて栄え続けてきました。

同じ場所において、違う宮を造営したのは飛鳥を除いて、我が国ではここだけです。それだけ重要視される場所だったということになります。

このように学術的にも重要な遺跡であり、国内外にもっとアピールし、打ち出すべきと考えます。

さて、ここまでの話で、大阪、関西は日本の中心となる場所であったことがお分かりいただけたと思います。ところが、現在の日本は、東京に人・物・お金・情報などが集中し、東京一極集中の時代が続いています。地方を再生するため、そしてこの一極集中を解消するためには、大阪が副首都としてもう一極を担うことが重要です。東の東京、西の大阪となるよう、副首都大阪を実現することが日本にとってのみならず、西日本、関西にとって、そしてもちろん大阪にとって大変有意義なことだと思えます。

まさに1400年前、日本の首都であり、その後も副首都として繁栄を続けてきたという時

代背景が、ここ大阪にはあるのです。

難波宮を考え思う時、つくづく私達も副首都大阪を実現できるよう真剣に議論を続け、この大阪府議会から一步でも二歩でも前に進めていかなければならないと改めて実感します。

ところで、その難波宮の跡地について、近年動きがあったとのことでした。

大阪城の南側が、北部ブロックとなり、高速道路を挟んで南部ブロックとなります。昨年度、大阪府と大阪市は共同で、この難波宮跡の北部ブロックの整備に向け、公募設置管理制度（P-PFI 制度）の活用を視野に入れたマーケット・サウンディングを実施し、民間事業者 6 者から、整備に関する提案があったと聞いています。

そこで、はじめに、難波宮跡の北部ブロックの整備について、民間事業者との対話のもと具体的にどのような提案があったのか、また、公園整備の今後の展望について都市整備部長にお伺いします。

都市整備部長答弁

- お示しの北部ブロックは、史跡に指定されていない比較的整備内容の自由度が高いエリアがあり、民間事業者の自由な発想を取り入れた民設民営の公園施設の整備を検討するため、令和 2 年 7 月からマーケットサウンディングを行ったところ、計 6 団体から提案をいただいた。
- 具体的には、ほぼ全ての団体から飲食物販施設や情報発信施設の整備提案があり、一部の団体からは、ICT を活用した歴史体験や教育・環境事業の展開、歴史博物館との連携など、特徴的な提案も示された。
- 現在、マーケットサウンディングの結果を踏まえ、P-PFI 制度の活用に向けて、府市で協議を進めており、2025 年大阪・関西万博までの北部ブロックの公園整備の完成を目指し、市において今年度中の民間事業者公募に着手されるよう、引き続き府市協調のもと取り組んでいく。

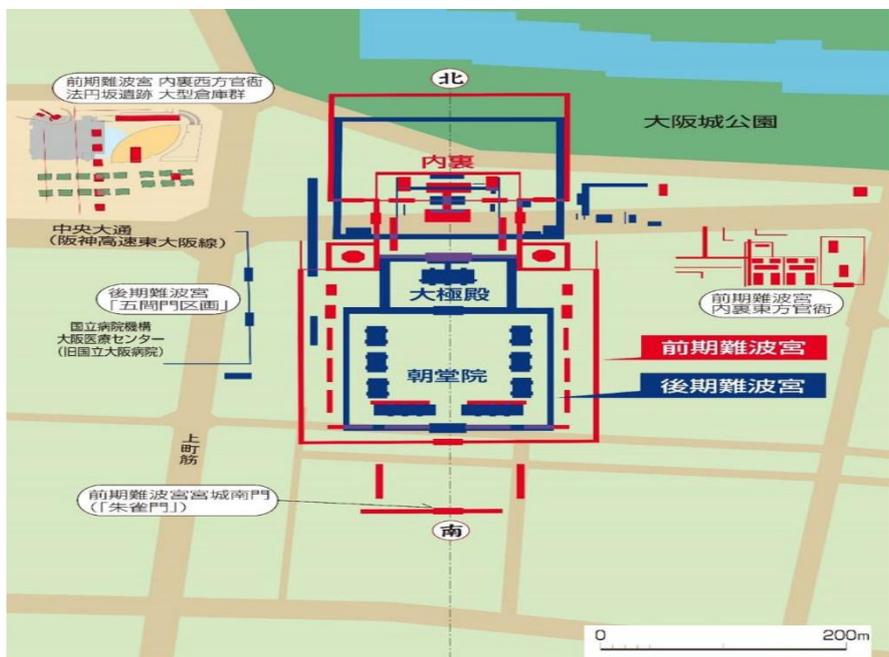
②

次に、南部ブロックについてお伺いいたします。

南部ブロックについてはまだこれから考えていくようですが、現在、中央区民まつりや四

天王寺ワッツで使われているだけで、都市の中にぽっかりと空いた何もない空間があるとは思えません。

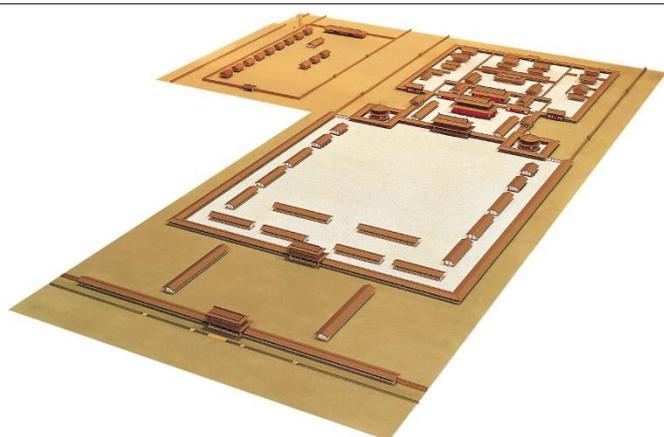
パネルをご覧ください。



前後期難波宮平面図（大阪歴史博物館提供）

現地では、このように孝徳天皇の前期難波宮と聖武天皇の後期難波宮でそれぞれ時代遺構表示を色分けしておられますが、それはそのことを知っている人にしか分かりません。

次のパネルをご覧ください。



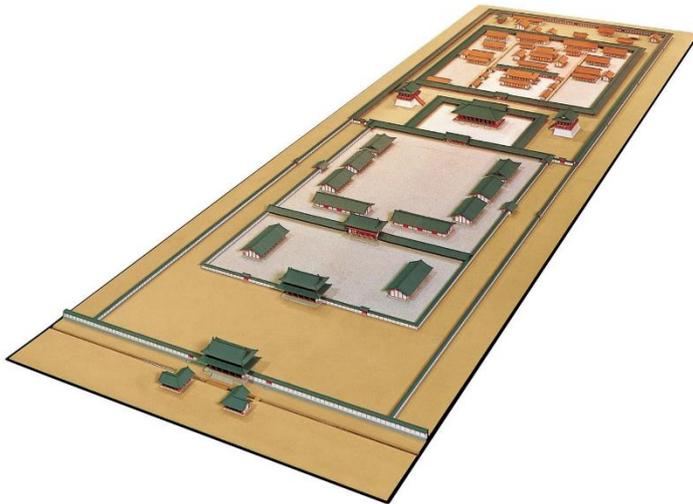
前期難波宮復元模型（大阪歴史博物館提供）

これは前期難波宮の復元イメージ模型です。

天皇がいる内裏や政務・儀式を行う朝堂院などからなり、建物は掘立柱形式で造られていたようです。

また、難波宮は日本書紀にて「ことごとくに諭【い】ふべからず」、すなわち言い表せないほどに立派であった、と言われているそうです。

次のパネルをご覧ください。



後期難波宮復元模型（大阪歴史博物館提供）

これは後期難波宮の復元イメージ模型です。

当時中国より伝わったばかりの最新技術である礎石を用いた建築に加え、瓦葺の屋根が見られるなど、難波宮が経済や文化の中心であったことがうかがえます。

史跡の保存と活用というならば、誰もが簡単に史跡の価値を知ることができるようにアピールし、文化財関係者が府市連携で取り組むべきだと考えますが、教育長にお伺いします。

教育長答弁

- 難波宮跡は、7世紀から8世紀に孝徳朝の「難波長柄豊碕宮(なにわのながらのとよさきのみや)」と聖武朝の難波宮の二度にわたって宮殿が築かれた、大阪を代表する史跡であり、その整備、活用の方
向性について、府教育庁も事務局として参画し、令和2年6月に「保存活用計画」として、大阪市と
ともにとりまとめたところ。
- 南部ブロックについては、史跡公園として整備され、近隣住民をはじめ、府民の憩いの場等として利
用されているが、整備事業の開始から約50年が経過しており、今後、文化財としての価値をより理

解いただけるような整備が必要と認識。

- これまでに実施された発掘調査の成果も踏まえ、難波宮跡の価値を、公園を訪れた方々に臨場感をもって体感いただけるよう、引き続き、全国の整備事例について情報収集を行うとともに、活用方を大阪市と研究してまいります。

③

難波宮は、日本の政治・経済の中心、日本の首都であったこと、それは紛れもない事実です。645年、中大兄皇子は中臣鎌足とともに豪族の蘇我氏を倒しました。

その後、国を安定させる為に聖徳太子が目指した天皇中心の国家体制、中央集権国家へと移り変わらせることとなる歴史的な改革、いわゆる大化の改新がなされました。

当時は飛鳥時代で、聖徳太子が設計図を作り、天智天皇・天武天皇・持統天皇へと引き継がれた歴史的な背景がある時代です。

日本の人口は500万人～600万人とされ、貴族は1000名ほどいたそうです。

当時のことは712年に古事記が編纂され、720年に日本書紀が編纂されました。

この改革によって「日本」という国号及び「天皇」という称号の使用が始まったとする説もあり、日本で初めて「大化」という元号が定められて今日の「令和」へと継承されています。

大化の改新が進められた新しい時代、その都が大阪でした。元号を作ることや、社会の仕組み、戦略をその当時の人は考えたのだと思います。

現在大阪府では都市魅力のステップアップを図り、大阪府全体の発展に資するために、国際都市大阪の新たな賑わいを創り出し、活力を高めていくための方策を示す大阪都市魅力創造戦略2025が掲げられています。そのような意味でも、歴史や文化を織り交ぜた観光情報発信の戦略は重要です。

そこで、難波宮跡を活用して、府市連携でどのように大阪の観光文化を打ち出されるのか、府民文化部長にお伺いします。

府民文化部長

- 難波宮跡は、わが国で最古の本格的な宮殿遺跡として高い歴史的価値を有しており、大阪の新たな観光資源にもなりうる魅力的な史跡であると認識している。
- 今年3月に大阪府・市で策定した「大阪都市魅力創造戦略2025」においても、難波宮跡を含む地区

を大阪市内の重点エリアの一つとしており、難波宮跡公園については、ハード・ソフト両面から魅力向上を図っていくこととしている。

- また、大阪観光局において、難波宮跡を含む古代大阪をめぐるモデルコースをホームページで紹介するなど、魅力の発信に努めてきたところ。
- 今後、2025年大阪・関西万博に向け進められる公園整備にあわせ、難波宮跡の持つ都市魅力としての価値を、より効果的に発信するため、その具体的な方策等について、大阪市や観光局とともに検討してまいる。

国際化、情報社会化が目まぐるしく進む今こそ、立ち止まって過去を振り返り、現在の足下を見つめ直し、未来を見直す、いわゆる原点回帰から、この大阪の未来を創っていかねばいけません。

日本人が歴史と文化を紡いできた日本の叡智と実績が、ここ大阪には存在しています。

観光戦略においても、我が国の歴史を含めて国の内外に発信し続けることが大切だと思います。

④

さて、大阪歴史博物館は、NHK放送局を現在の場所、西側に移転する際、難波宮サイトミュージアムになるように、平成13年に開館されています。

パネルをご覧ください。



大阪歴史博物館10階展示室より難波宮跡南部ブロックを望む
(大阪市教育委員会2020『史跡難波宮跡附法円坂遺跡保存活用計画』)

これは大阪歴史博物館 10 階の展示室より難波宮跡の南部ブロックを見た景色です。

博物館の展示はまさに難波宮の大極殿の内部空間を実寸大で再現しており、ビルからは難波宮跡、全域が見られるようになっています。

地下には遺構も保存されており、学芸員の案内で見ることができると聞いています。これらのことも案外、知られていません。

世界に誇る宮殿遺跡、歴史博物館、大阪城天守閣、公園もあります。万博を控えている今、これら大阪の未来のために打ち出すべきです。

大阪城公園の管理運営が改革されて、ご家族連れやカップルなどが、JO-TERRACE で絶品のパンケーキやフレンチトーストを味わっています。大阪城公園の雰囲気を楽しみながら老若男女が談笑されているという、穏やかで有意義な時間を過ごすライフスタイルが見られています。

新制度導入前と今日では隔世の感があると思うのは私だけでしょうか。

ここに、もし稗や粟、麦などを使用したスイーツなどがあれば、歴史を感じつつ豊かな時間を過ごすということもできると思います。その他にも様々なことができます。この難波宮跡などの大阪城周辺エリアが持つ潜在的な魅力はこんなものではありません。

大阪城周辺エリアをもっと活かす、まだまだこれからです。大阪の未来のために取り組むべきことであると考えますが、知事のご所見をお伺いいたします。

知事答弁

- 民間ノウハウを活用した公園整備の検討が進む難波宮跡や、大阪城公園を含むエリアは、歴史的に重要な価値のある施設が多くあり、観光誘客の観点からも高いポテンシャルを有している。
- 2025 年大阪・関西万博に来られる国内外からの多くの観光客に、大阪城周辺エリアの魅力を知っていただき、訪れた方にその雄大な歴史や文化を感じていただけるよう、さらなる魅力の創出・発信に、大阪市とともにしっかりと取り組んでいく。



2 大規模公園の広域的な一体戦略

①

次に、大規模公園についてお伺いいたします。

まずパークビジョンについてお尋ねします。

昨年度は大阪港湾局が、また、この11月には大阪都市計画局が設置される等、大阪府と大阪市が連携した動きが進んでいるところです。

そうした中、大阪パークビジョンについては、我が会派の代表質問においても、知事より、「府市連携による取組みを推進し、一層の魅力向上を図ることで、より多くの府民に利用していただける公園づくりを目指す」との答弁をいただきました。府市連携の取組が推進され、府域に相乗効果が波及していくことは、非常によいことであると感じます。

昨年の9月議会において、私の質問に対し知事より、「大阪パークビジョン」を取りまとめていくとの答弁をいただいたこともあり、私としても、その成果には大いに期待しているところです。大阪府と大阪市が公園を一体的、効率的に運営することや、大規模公園施設などの再配置を検討する等、府市連携の中でこそできることもあると考えています。

このパークビジョンの策定にあたっては、役所だけでなく民間の知恵や活力を導入して検討することが必要であると感じます。

そこで、ビジョンの取組方針と今後の進め方について都市整備部長にお伺いします。

都市整備部長答弁

- 大阪パークビジョンでは、大阪府と大阪市の取組を連携し、互いの公園緑地の機能を補完することによって生み出される相乗効果を府域に波及させていくため、3つの取組方針を設定している。
- 1つ目は、PMOなど民間活力導入による既存の公園緑地の有効活用、2つ目は、公園緑地に係わる活動団体や企業などとの相互協力による多様な使い方の提供、3つ目は、都市や地域の顔となる公園緑地整備による質の高い都市空間の形成。
これらの取組方針に基づき、府市が一体となって公園緑地の更なる魅力向上を図っていく。
- 現在、本ビジョンの策定に向けて、幅広く意見を聞くためのパブリックコメントを行っており、経済団体などとの意見交換を予定している。策定後においても、継続的に民間の知識やノウハウが取り入れられるよう、しっかりと取り組んでいく。

②

東京オリンピックでは多くの日本人が活躍し、スケートボードでは松原市の西矢もみじ選手が日本人最年少の金メダリストになりました。西矢選手が練習したのは、私の地元平野区に隣接する松原市の「スポーツパークまつばら」です。ここは、道路敷地を松原市がスケートボードの公園にしたものです。

西矢選手が活躍したスケートボードは、オリンピックを契機に身近なスポーツとして子どもから大人まで人気が高まっているところです。

私の地元にある久宝寺緑地でも、スケートボードエリアが整備され、多くの利用者で賑わい、西矢選手も利用したことがあると聞いています。

しかし、個人では練習場を確保することは容易でないという話もあり、自治体の支援が必要だと思います。

良いスケートボード場があれば、地域の名所の一つにもなり、将来のアスリートを育成するという効果も考えられます。

現在の久宝寺緑地のスケートボードエリアは、カラー舗装されているのみであり、施設を

充実させるために、ジャンプ台などの新たな設備の設置を検討すべきと考えます。
都市整備部長の所見を伺います。

都市整備部長答弁

- 久宝寺緑地では、スケートボード利用者の増加に伴い、来園者との衝突の危険や騒音など、多くの苦情が寄せられたことから、利用可能なエリアを検討したうえで、令和元年度にスケートボードエリアを設置した。
- エリアの設置にあたっては、指定管理者と連携し、来園者も入ったワークショップを開催し、ワークショップでの様々な意見を踏まえ、安全面等を考慮した使用上のルールや運用方法を定めてきた。
- お示しの新たな設備については、利用者からも設置を求める声が高まっていることから、引き続き、指定管理者や来園者と意見交換を行い、柵の設置などの必要な安全対策と併せて、設備の充実を図っていく。

アメリカのニューヨークにセントラルパークという公園があります。年間約 4000 万人に利用され、数々の映画やテレビの舞台になっています。

セントラルパークはマンハッタンのほぼ中央にあって、大阪城公園の約 3.5 倍の大きさがあり、今から約 150 年前、人の手で作られました。

公園の中にいると、人工的な感じはまったくなく自然をそのまま取り入れた公園に見えると言われています。私は、自然に見えるのは、そのように見せる不断の努力の結果だと思えます。

そのような公園でも、長い年月の間に公園が荒廃して危険な場所となったときがありました。それを復活させたのは、役所ではなくセントラルパークコンサーバンシーという民間の非営利団体です。コンサーバンシーは法人スポンサーなどの寄付により資金を集め、公園を管理運営しており、住民みんなのための公園として、どのようにあるべきか検討を続けています。その上で、公園の革新的な取り組みは、民間の非営利団体によってはじめられています。

本府では、PMOやP-PFIがはじまりましたが、時代の要請に応じて、民間の力をい

かんなく発揮できるように努めていくべきではないでしょうか。

難波宮、パークビジョンをはじめ、今回の質問を通じて、大阪府と大阪市が踏み込んだ議論をすることによって、大阪府市連携、一体化の重要性を改めて感じました。関西万博に向けてグリーンパワー、大阪の観光も含めて、設計図、ビジョン、計画だけでなく、しっかりとした行程表を作成して大阪の魅力を世界に発信し続けていただくことを願い、質問を終わらせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。